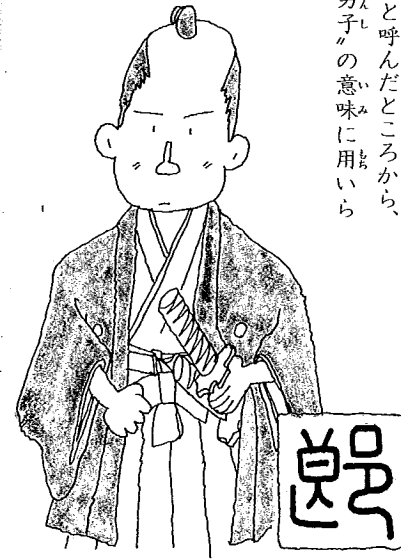


郎

おん
ロウ

9画
㇀
㇁
㇂
㇃
㇄
㇅
㇆
㇇
㇈
㇉
郎

なりたち 昔(周の時代)の中国の土地区画の方法で、一里四方の田地を井といひ、四井は二里四方(四平方里)で、これを邑(ゑ)といつた。郎は良(りやう)といふ名の村のこと。村の若者(わかし)を郎君(りやうくん)と呼んだところから、「立派な男子」の意味に用いられる。



いみじゆく
▼若い男子の美称。
新郎(しんやう)：花婿(はなむこ)。結婚したばかりの夫(つま)。

▼仕えている人。
郎党(りやうたう)：武家の家来(けらい)。用例(れい)一族(いちぞく)郎党(りやうたう)を率(ひら)いて戦(いくさ)に臨(ま)む。

▼郎党(りやうたう)を率(ひら)いて戦(いくさ)に臨(ま)む。
下郎(げりやう)：人に仕える身分(身分)の低い男(おとこ)の人(ひと)。

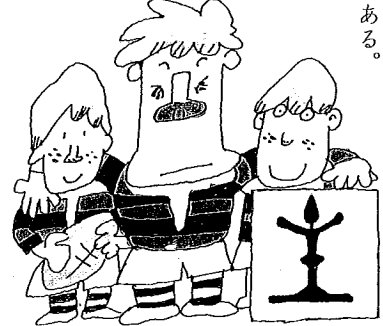
▼男子(おとこ)の名前(なまえ)に用(もち)いることば。
例(れい)一郎(いちりやう)・太郎(たうりやう)
▼中国(ちゆうごく)の官名(くわんめい)。例(れい)侍郎(じりやう)・尚書(しやうしよ)郎(りやう)

主

おん
シュ・ス
ぬし・おも

3画
㇀
㇁
㇂
主

なりたち 燭台(ろうだい)に火(ひ)がともっている形(かたち)を表(あらわ)した字(じ)。昔(むかし)は灯火(とうちや)は大切なもので、へやの中心(ちゆうしん)に置(お)かれ、皆(みな)そこに集(あ)まった。それで、「灯火(とうちや)・中心(ちゆうしん)・大切(たいせつ)・集中(ちゆうしゆ)」などの意味(いみ)がある。



いみじゆく
▼中心(ちゆうしん)となる。大切な。主力(しゆりき)：中心(ちゆうしん)となる力(ちから)。特に戦(いくさ)闘(たたか)うする上(う)での中心(ちゆうしん)となる勢力(せきりき)。

▼主役(しゆやく)：劇(げき)や映画(えいご)で中心(ちゆうしん)となる役(やく)。転(てん)じて、何(なに)かをするのに最(さい)も重要な役(やく)目(め)を果た(はた)す人(ひと)。

▼中心(ちゆうしん)となる人(ひと)。かしら。戸主(とぬし)：一家(いっか)のあるじ。家長(かちやう)。

▼喪主(そうぬし)：葬式(そうしき)の時(とき)主人(しゆじん)役(やく)をつとめる人(ひと)。
天主(てんしゆ)：キリスト教(きりすときやう)の神(かみ)。

▼盟主(めいしゆ)：同盟(どうめい)の中心(ちゆうしん)となる人(ひと)。
▼接主(せつしゆ)：接待(せつぱい)をする側(がは)ら。あるじ。
▼主催者(しゆさいしや)：中心(ちゆうしん)となつて催(もよほ)しを行(おこな)う人(ひと)。

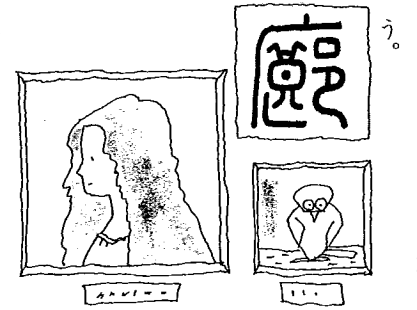
▼行為(こうゐ)をなす中心(ちゆうしん)。
▼主観(しゆくわん)：自分(じぶん)の立場(たてかた)から見た(み)た、もの(もの)の見方(みかた)。例(れい)客観(きやくくわん)の(の)見方(みかた)。
▼よみかた 主演(しゆえん)：主義(しゆぎ)・主語(しゆご)・主旨(しゆし)：主将(しゆしやう)・主題(しゆだい)：主婦(しゆふ)・主要(しゆやく)：主流(しゆりゆう)・神主(しんしゆ)・地主(ぢしゆ)・坊主(ぼくしゆ)

廊

おん
ロウ

12画
㇀
㇁
㇂
㇃
㇄
㇅
㇆
㇇
㇈
㇉
㇊
㇋
廊

なりたち 本堂(ほんだう)の両(りやう)わきにひさしを出(だ)して作(つく)つた小さなへやのこと。ひさしの形(かたち)の広(ひろ)く小さな区画(くわ)である郎(りやう)との会意(かいい)形声字(けいせいじ)。転(てん)じて、「へやとへやをつなぐ板(いた)じきの通路(つうろ)」。をいふ。

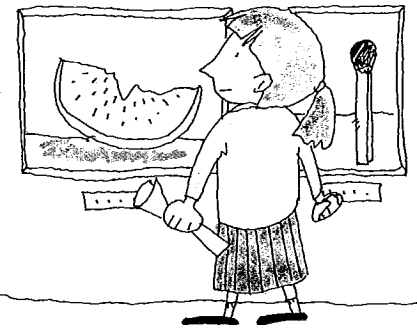


いみじゆく
▼建物(たてもの)と建物(たてもの)をつなぐ屋根(やね)のある通路(つうろ)。

▼部屋(へや)と部屋(へや)をつなぐ通路(つうろ)。
廊下(りやうか)：家(いへ)の中(なかに)の部屋(へや)をつなぐ通路(つうろ)。

長廊(ちやうりやう)：長く続(つ)いた廊下(りやうか)。
回廊(かいりやう)：長く折れ曲(まが)がつた廊下(りやうか)。

画廊(がかりやう)：絵画(えが)などの美術品(びじゆつひん)を陳列(ちんれい)する所(ところ)。ギャラリー。
歩廊(ほりやう)：二列(にれつ)の柱(はしら)の間に設(た)けた通路(つうろ)。

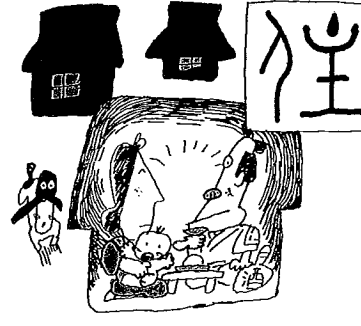


住

おん
ジュウ
すむ・すまう

7画
㇀
㇁
㇂
㇃
㇄
㇅
住

なりたち 灯火(とうちや)の意味(いみ)の主(しゆ)と人(ひと)との会意形声字(かいいけいせいじ)。灯火(とうちや)の見える所(ところ)には必ず(かならず)人が住(す)んでいることがわかる。それで、「すむ」意味(いみ)を表(あらわ)した。



いみじゆく
▼すむ。すみか。

衣食住(いじきぢゆ)：衣服(いふく)・食物(じよく)・住居(ぢゆ)。
人間の暮(く)らしに基本(きほん)的に大(だい)事(じ)な三(さん)つものもの。

安住(あんぢゆ)：何(なに)の心配(しんぱい)もなく満足(まんぞく)してそこに住(す)むこと。用例(れい)安住(あんぢゆ)の地(ぢ)。

永住(えいぢゆ)：ずっとそこに住(す)むこと。
用例(れい)永住(えいぢゆ)の決心(けっしん)をする。

住職(ぢゆしやく)：寺(てら)の主(しゆ)である僧(そう)。住持(ぢゆぢ)。

常住(ちやうぢゆ)：①いつもそこに住(す)んでいること。②いつも。つねに。

例(れい)常住(ちやうぢゆ)坐臥(ざが)臥(が)座(ざ)つてい(い)る時(とき)も寝(ね)てい(い)る時(とき)も、い(い)つも。

よみかた 住居(ぢゆ)：住所(ぢゆしよ)・住宅(ぢゆくわ)・住人(ぢゆじん)・移住(ぢゆぢゆ)・居住(ぢゆくぢゆ)・在住(ぢゆくぢゆ)

主住

郎廊